



じしゅう とうこうさん
時宗 東岡山

福田寺だより

【ホームページもご覧ください!】
<https://kyoto-fukudenji.com/>



****新型コロナウイルスの影響を考慮し、4月からの写経会は延期させていただきます****

今後の予定に関してはお便りやホームページなどでお知らせさせていただきます。

また、「京都時宗寺院の御朱印巡り」もチラシ・御朱印帳・満願証の制作などが進んでおりましたが、現況に鑑み、開始時期が延期になりました。



~今月のおことば~

もう こり た

忘己利他 (伝教大師)

[意味] 自分自身のことを忘れ、他者の利益のために尽くすこと

共に乗り越えましょう



コロナウイルスによる新型肺炎の脅威が増しております。3月27日現在、感染者数は日本で2,000人を突破し、世界では50万人を超え、さらに広がりを見せています。各地で移動の自粛要請が出され、政府による「緊急事態宣言」発令の準備も進められています。まさに未曾有の危機と言えるでしょう。

また、コロナウイルスの脅威に付随して、マスクや生活必需品の買い占め、転売といった問題が出てきました。物品を買い占める人や転売する人は違法ではないからと言い訳し、モラルの欠如が浮き彫りになりました。これは世界中で見られた現象で、ウイルスがきっかけというだけであって、人間の本質的な問題であると言えるでしょう。もちろん、一部の人がこういった行動をしているだけという見方はできますが、不安からデマだと知りつつ必要以上に物品を買いだめしておこうと考える人も多いのも事実です。

このような難しい状況ほど人間は手を取り合って困難に立ち向かわなければなりません、現状はいかがでしょう。政治家や専門家も各々の立場や利害に基づいて提言や政策がなされるため、人々の間にパニックが広がったのではないのでしょうか。偏見や差別、風評被害も散見されます。今求められることは、闇雲に恐れずウイルスの抑制に向かって冷静に対応することです。簡単なことではありませんが、“冷静になろう”、“乗り越えられる”と考えることが心の余裕にもつながるかと思います。

そしてやはり今一度、仏教の精神に立ち返る必要があるのではないかとも思います。伝教大師は冒頭の言葉「忘己利他」という言葉を残されています。仏教者の根本精神、理想姿ともいべき教えです。また、普段お読みするお経の中に「じ た ほうかい どうり やく自他法界同利益」という一節が出てきます。大意は「自分や他者、り やく生きとし生けるものすべてが、この世界の利益を等しく受け取る」です。仏教の基本は自利と利他、つまり自分にも他者にも利益がある事を良しとします。現代風に言うと「Win-Win」でしょうか。自分も他者も世の中もあらゆる縁でつながっていますから、結局自分に返ってくるのです。自分より人を優先しなければならぬ、ということではなく、この一つの世界の利益を分かち合い、共存共栄を目指すということが大事なのだと思います。 合掌

